



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	29,263.48	-219.75	-0.75	-0.73	2.54	28,538.44
NASDAQ	11,854.97	-49.74	-0.42	0.22	32.12	8,972.60
日経225	25,527.37	-106.97	-0.42	0.56	7.91	23,656.62
上海総合	3,377.73	14.64	0.44	2.04	10.74	3,050.12
滬深300(CSI300)	4,943.29	15.30	0.31	1.78	20.67	4,096.58
ハンセン	26,451.54	94.57	0.36	1.13	-6.17	28,189.75
中国企業	10,553.35	-2.01	-0.02	0.08	-5.50	11,168.06

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.1%高と3週続伸、上海総合指数は2.0%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.1%高と3週続伸。新型コロナワクチンの開発進展が買い安心感につながった。欧米での新型コロナ感染者拡大を受けて19日には反落したが、20日には中断していた米議会で追加経済対策の協議が再開する見込みと伝わり、米国経済の回復期待から再び買われる展開となった。本土市場では上海総合指数が週間で2.0%高と反発。10月の経済指標が堅調な内容だったことに加え、中国政府が自動車や家電などで消費刺激策を打ち出す方針を示したことが好感された。

今週の展望:香港市場はもみ合いか、新型コロナの感染拡大とワクチン期待で綱引き

香港市場はもみ合いの展開か。欧米を中心に新型コロナの感染が続いているが、米製薬大手ファイザーの開発したワクチンが早ければ来月にも米国で接種が始まる見通しとなり、不安の中で期待も高まっている。中国企業の債務不履行が多発している点も懸念材料ではあるが、中国政府が債券市場の安定維持を図る方針を決めたことで過度の警戒感の後退しており、リスク回避の売りは限定的か。本土市場は中国政府が消費刺激策を打ち出す方針を発表したことを好感し、引き続き堅調な展開となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	23.10	11.59
2 創科実業(00669)	108.00	6.30
3 太古A(00019)	45.75	5.78
4 恒隆地産(00101)	21.60	5.62
5 AIAグループ(01299)	89.50	5.60
6 小米集団(01810)	25.55	5.36
7 長江実業地産(01113)	43.50	4.95
8 長江和記実業(00001)	56.85	4.89
9 HSBC(00005)	38.90	4.43
10 申洲国際集団(02313)	140.70	4.22

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国海外発展(00688)	18.28	-11.90
2 瑞声科技(02018)	42.10	-6.24
3 ファイ・モバイル(00941)	46.95	-6.10
4 碧桂園(02007)	10.50	-4.20
5 ファイ・コム(00762)	4.79	-3.82
6 華潤置地(01109)	35.20	-3.16
7 テンセント(00700)	588.00	-2.33
8 中国建設銀行(00939)	5.86	-2.01
9 中国工商银行(01398)	4.56	-1.94
10 石業集団(01093)	8.18	-1.80

▼今週の主なイベント

- 11月24日(火) 【香港】貿易統計(10月)
- 11月26日(木) 【米国】感謝祭で休場
- 11月27日(金) 【中国】工業企業利益(10月)

▼今週の期待材料

- ◆中国政府が自動車や家電を対象に消費刺激策を打ち出す方針を発表、消費拡大への期待高まる
- ◆米製薬大手ファイザーがワクチンの緊急使用許可を米当局に申請、早ければ来月11日にも米国で接種開始
- ◆中国の10月の主要経済指標が順調に回復、鉱工業生産や固定資産投資が市場予想を上回る強い結果に

▼今週の懸念材料

- ◆欧米で新型コロナの新規感染者が引き続き急増、香港でも足元で新規感染者の拡大続く
- ◆中国企業の債務不履行が多発、ブリリアンス・チャイナ親会社の華晨汽車集団は破産手続きを開始
- ◆米トランプ政権が新たに中国人民解放軍と関係の深い企業89社に対して制裁を検討か

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 越秀地産(00123): 2位株主の広州地鉄集団から不動産管理会社2社を買収
- ☆ BYD(01211): 中国政府が自動車の消費刺激策を打ち出す方針を発表
- ☆ 中国恒大集団(03333): 不動産子会社を分離上場、12月2日に香港に上場
- ☆ 波司登国際(03998): 26日に20年9月中間決算を発表、市場予想は5%増益
- ☆ 睿見教育国際(06068): 20年8月本決算は42%増益、市場予想上回る
- ☆ JDドット・コム(09618): ヘルスケア子会社を分離上場、25日にも公募開始へ
- ★ キャセイ・パシフィック(00293): シンガポールとのトラベルバブル延期で痛手
- ★ チャイナ・コム(00762): 10月の4G・5G加入純増数が前月比14%減少
- ★ チャイナ・モバイル(00941): 10月の5G加入純増数が前月比1.5%減少
- ★ ブリリアンス・チャイナ(01114): 親会社の華晨汽車集団が破産手続きを開始

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。